

令和7年2月25日

わさびツーリズムの在り方

S A V O R J A P A N 具体化検討WG
(富士山麓・伊豆半島食の魅力推進協議会)

- 1 策定の背景・趣旨
- 2 体制
- 3 基本的な方向性
- 4 今後検討が必要な課題
- 5 その他

1 策定の背景・趣旨

(1) 背景

観光客増加と自然環境・景観保全等の両立

- 観光客の増加への対応するため、真に必要なインフラ投資を実施しなければならない一方、わさび田周辺への来訪は、わさび生産環境の悪化やわさび田への侵入等、オーバーツーリズムへの懸念を示す生産者・地域住民がいる状況。
- 観光対応と併せ、わさび田をはじめとする自然環境及び景観保全・生産者保護の両立を図る必要がある。

(2) 趣旨

伊豆市におけるわさびツーリズムの在り方

- 上記課題を解決するため、一刻も早く「伊豆市におけるわさびツーリズムの在り方（以下、在り方）」を固める必要がある。
- 「目指すべき将来像」や「インフラ投資の考え方」、「富裕層の考え方」などを「在り方」としてとりまとめ、現場レベルで実現可能なツーリズムを構築していく「羅針盤」とすることが急務。

2 体制

- 令和6年5月に開催された通常総会にて、行政・JA・DMOにて構成される「SAVOR JAPAN 具体化検討WG」の設置について、協議会全会一致で承認
- 令和6年6月に正式に具体化検討WGを設置（計5回のWGを開催）

SAVOR JAPAN 具体化検討WG 構成団体

DMO

一般社団法人
美しい伊豆創造センター

JA

富士伊豆農業協同組合
・営農販売部営農企画課
・修善寺営農経済センター

行政

- ・伊豆市産業部農林水産課
- ・静岡県賀茂農林事務所地域振興課
- ・静岡県東部農林事務所地域振興課
- ・静岡県経済産業部農業局食と農の振興課（事務局）

3 基本的な方向性

(1) 目指すべき将来像

- 生産者保護が最優先

→持続的なツアーの実現に向け生産者保護が一丁目一番地

- ターゲットは「富裕層」

→「希少性」や「贅沢」な旅を求める傾向のある人

- 量より質を重視

→着地型の旅行商品の開発に向け生産者等に理解のある旅行事業者と連携

- オーバーツーリズム対策

→多言語対応ガイドが同行するツアー体験

- 農林水産関係施設等との連携

→生産者と施設の相互がメリットを享受できる仕組み

(2) インフラ投資の考え方

- わさビジターセンター(VC)整備が必要なインフラ投資

→わさびに係る情報はVCに集約（多言語対応）

→通訳兼ガイドによるディープな秘境ツアーの実現

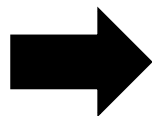
3 基本的な方向性

(3) イメージ

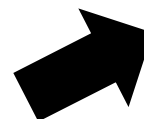
- インバウンド観光客をわさびジターセンターに集約
- 筏場のわさび田へは多言語対応ガイドを同行させた上で、金額を高め設定することで、富裕層をターゲットとしたツアーとする(秘境感の演出と生産者保護の両立)
- わさび漬けづくり体験やわさびの食べ比べなどの体験メニュー等での対応も想定



インバウンド
観光客



伊豆わさびジターセンター
(関所)



多言語対応
ガイド



筏場のわさび田
(秘境)



食べ比べ体験

3 基本的な方向性

(4) 富裕層

- コロナ禍以降、富裕層の価値観等が変化
- 多様化する志向や消費性向を踏まえたツアー検討が必要
- 定義づけは旅行業者等の意見を踏まえ今後検討

富裕旅行者の志向

Modern Luxury
新型ラグジュアリー志向
20～30代が中心

価値観

文化、起源、スタイル、独自性
新しいことへの挑戦
贅沢より経験

旅行へのニーズ

本物の体験、一生に一度
エコツーリズム、サステナビリティ
ボランツーリズム

富裕旅行者の消費性向

Selective Luxury
優先度の高い事項に重点投資
若年層・アーリーリタイヤ世代

価値観

自分にとっての意義や求める価値
が満たされることを贅沢と定義

旅行のスタイル

自ら情報収集する
地方やものづくり体験等を好み
最低限のもので宿泊する

4 今後検討が必要な課題

- 今後検討が必要な課題は以下のとおり
 - 課題解決に向け令和 7 年度以降も検討を継続していく
-
- 生産者との合意形成
 - 富裕層の定義づけ（旅行業者の意見も必要）
 - 多言語対応ガイドの育成
 - 出口戦略・プロモーション（旅行販売業者との連携）
 - VCの効果的な周知
 - 海外に向けた伊豆わさびブランドの強化
 - 旅行代金が生産者へフィードバックされる仕組みづくり
 - 地元ホテルとの連携
 - その他

5 その他

(1) 策定までの経緯

区分	日時	内容
通常総会	令和6年5月29日	WG設置を全会一致で承認
第1回WG	令和6年6月19日	WGの立ち上げ ほか
第2回WG	令和6年7月17日	今年度の活動計画 ほか
第3回WG	令和6年8月21日	ツーリズム・インフラ投資の在り方①
第4回WG	令和6年9月25日	ツーリズム・インフラ投資の在り方②
全体研修会	令和6年11月13日	①構成団体现地視察 ②講師による基調講演 「インバウンド観光客を誘客するためには ～ 食を通して見たトレンドと3つの視点～」
モニターツアー	令和6年11月22日	インバウンド観光客への試行的ツアー
第5回WG	令和6年12月18日	ツーリズム・インフラ投資の在り方③
—	令和7年2月17日	在り方(案) 策定
—	令和7年2月25日	在り方とりまとめ

(2) 参考資料

- 伊豆市わさびの郷構想（令和元年6月 伊豆市）
- 伊豆市わさびの郷構想に基づく拠点施設整備の検討に関する
とりまとめ（令和4年5月13日 伊豆市わさびの郷構想拠点施設
整備検討ワーキングチーム）
- 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりに向けたアクション
プラン（令和4年5月 観光庁）
- 農泊推進地域における上質な食体験コンテンツ造成のための調査
結果概要（R3年度農山漁村振興交付金 農泊推進対策（広域
ネットワーク推進事業「上質な食体験コンテンツ造成のための調査、
専門家派遣事業」）